

地下埋設物の事故防止

試掘・薬注の安全ポイント



(一社) 日本建設業連合会
公衆災害対策委員会
地下埋設物対策部会
建設三団体安全対策協議会

〔薬液注入〕



1) 打合せ

- (1) 薬液注入作業で、どのような事故が考えられるか、その防止方法や緊急時の対応などについて事前に職員と打合せをしましょう。
- (2) 試掘結果にもとづいて埋設物の種類、位置、深さ、管径等を路上にマーキングし、作業員全員で再確認しましょう。

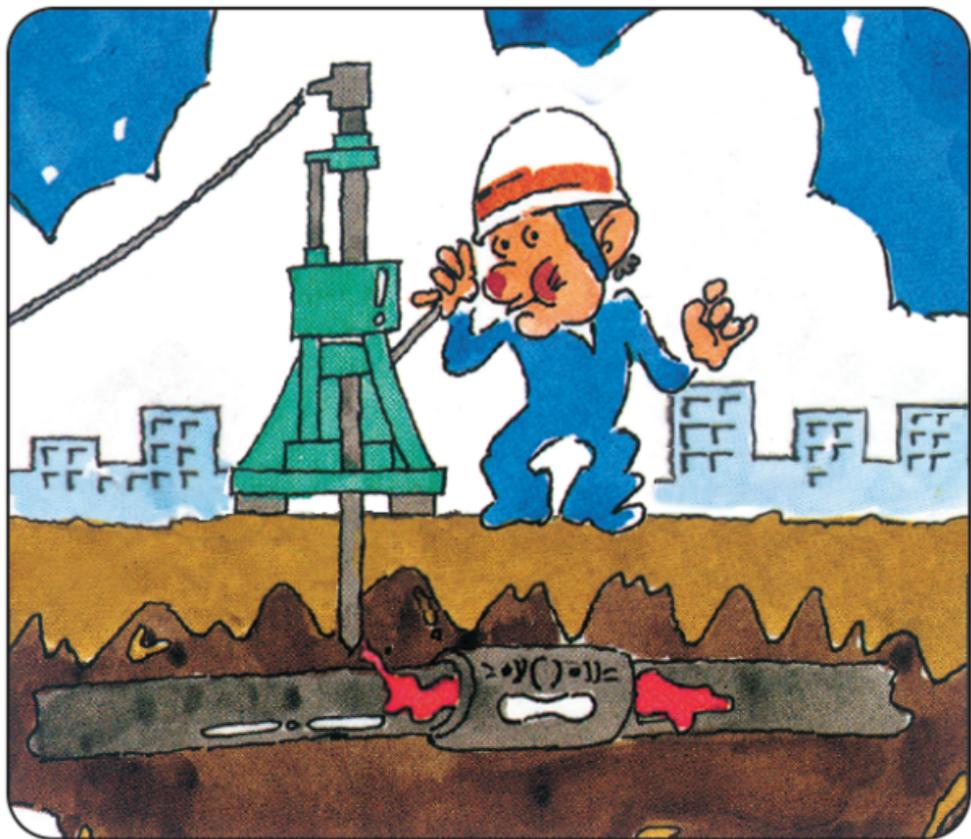
ちょっと待て、掘削前に再確認、埋設物がそこにある。



2) 注入作業

- (1) 埋設物付近の注入は、埋設物を露出し、異常のないことを確認しながら施工しましょう。
- (2) 埋設物に影響を与えるおそれのある場合は、ケーシング等を埋め込んで防護しましょう。

小さな異常早期に防護、常に点検正しい作業。



3) 注入液の流入

- (1) 注入する時、圧力で注入液が埋設物のジョイントなどのすき間から入り、事故の原因となることがあるので、十分に注意しましょう。

地下工事、一人一人が点検者。



4 埋設物の浮上

- (1) 埋設物から離れている場所でも、注入の圧力によって埋設物が浮上・折損することがあります。路面や構造物に異常のないことを確認しながら施工しましょう。

気を抜くな、埋設物の点検は、安全施工の第一歩。

〔試掘〕



1) 打合せ

- (1) 試掘作業で、どのような事故が考えられるか、その防止方法や緊急時の対応などについて事前に職員と打合せをしましょう。
- (2) 掘削や埋戻しの手順、方法など、埋設物に対する留意点を確認しましょう。
- (3) 作業に先立ち、試掘の位置・深さ・方法・手順などを作業員全員で再確認しましょう。

調査、確認、指示、点検、どれを欠いても事故のもと。



2) 安全管理

- (1) 現場に掲示されている事故防止や緊急時の措置等を見て、おぼえておきましょう。
- (2) 緊急資材置き場は、場所、材料、種類、数を確認し、整理整頓しておきましょう。
- (3) 緊急出動に備え、訓練にはいつも参加しましょう。

みんなで注意、毎日点検、今日も安全地下作業。



3) 埋設物の状況の把握

- (1) 作業前に図面等で予測される埋設物の種類、位置、深さ、管径等を路上にマーキングするとともに作業員に周知しましょう。
- (2) 必要に応じて、地下埋設物探査機などを使用してさらに詳細に状況を把握しましょう。

聞いて調べて掘ってみて、皆に教えて事故はなし。



4) 試掘作業

- (1) 作業は、埋設物管理者の立会のもと行いましょう。
- (2) 掘削は手掘りを原則とし、ピックやツルハシなどを使用する場合は、埋設物に当てないように注意しましょう。
- (3) 予測されない埋設物があることもあるので、さらに探針棒で調査しましょう。

試掘したとて油断をするな、上下左右に曲りあり。



5) 確認図

- (1) 確認された埋設物を路上にマーキングしましょう。
- (2) 試掘によって作成された確認図は、埋設物の事故防止はもちろんのこと、杭打ち、路面覆工、吊り、受け防護などの計画にも大切な資料です。整理保管して十分に活用しましょう。

埋設調査は確実に、試掘と防護で事故防止。

皆さん毎日ご苦労さまです。

都市部における地下の建設工事は複雑な工事が増加しており、地下埋設物の事故も数多く発生しています。これらの事故はガス爆発や火災などのほか、電気、通信、上下水道の損傷や交通障害などを招き、日常生活にも重大な影響を与えかねません。

日建連では、埋設物・架空線事故の防止を目的として「試掘・薬注の安全ポイント」を作成しています。この「安全ポイント」を活用し、事故防止に努めて下さい。

(安全ポイントは他に「布掘り・杭打ちの安全ポイント」「路面覆工・掘削の安全ポイント」「埋設物復旧・埋戻し・覆工撤去の安全ポイント」があります)

詳しい資料として次のものがあります。

- 地下埋設物の事故防止の手引き
- 地下埋設物の事故防止のための留意事項と事故例
- 地下埋設物に関する施工管理要領
- 地下埋設物現場点検時における指導事項集



異常を発見したら

- (1) 埋設物の異常を発見したら、直ちに職員に連絡しましょう。
- (2) 連絡の要領
 - ① 何が(事故の種類)
 - ② どこで(場所、現場名)
 - ③ いつ(発生時または発見時)
 - ④ 状況(事故の規模、被害拡大の見通し)

緊急連絡先:

電話番号: